



NEWS RELEASE

2017年2月22日

アナログ・デバイセズ、自動運転領域でのリーダーシップを強化する Drive360™ 28nm CMOS レーダープラットフォームを発表

アナログ・デバイセズ株式会社

[アナログ・デバイセズ社](#) (NASDAQ: ADI) は本日、28nm CMOS ベースのレーダープラットフォーム「Drive360™」を発表しました。これは、過去 20 年に渡り自動車業界で幅広く使用されている各種 ADAS (先進運転支援システム)、MEMS センサー、およびレーダー技術ポートフォリオを統合した新たなプラットフォームです。28nm CMOS プロセスによる先進のオートモーティブ用レーダー技術は、今回 ADI が世界で初めて実用化したもので、高度な安全/自動運転アプリケーションに、比類のない RF 性能を発揮させます。既存の最高クラスの SiGe デバイスを上回る性能により、遠方の小さな物体を認識できるようになり、余裕をもって回避動作を行えるようになります。Drive360 は今後さまざまな製品開発の基盤となるとともに、Tier 1 及び OEM 企業の製品開発期間の短縮、設計リスクと開発コストの削減に直ちに貢献するものです。本プラットフォームは極めて多彩なアプリケーションをサポートしており、例えば、自動運転および ADAS に必要なハイエンドの長距離ユーザーケース、短～中距離の自動緊急ブレーキ、死角検出、クロス・トラフィック・アラート、至近距離自動駐車などに対応しています。

ADI のオートモーティブ・セーフティ担当ゼネラル・マネージャーであるクリス・ジェイコブス (Chris Jacobs) は、次のように述べています。「当社の重要な目標は、次世代の自動運転レベルの性能を実現しつつ、世代の異なるシステムに単一のプラットフォームで対応できるよう、アプリケーションの柔軟性とスケーラビリティを最大化することでした。このため、現行の SiGe ベースのレーダー製品をまったく新しい視点から再検討し、小型 CMOS で得られるコスト、消費電力、高集積度のメリットを生かす新たな方法を開発しました。Drive360 は、現行の最高クラスの SiGe デバイスの性能を凌駕し、自動運転技術の最新の要求に応えます」

ADI の Drive360 を利用することで、多数の高度な信号処理の統合オプションや、さらにカスタムに

よる IP の搭載も可能になるため、差別化された優位性のある製品設計ができるようになります。本プラットフォームは高集積のパワー・マネジメント・コンパニオン・チップを搭載しています。Tier 1 や OEM 企業には、今後の自動運転アプリケーションに対応できる堅牢なソリューションの開発が求められていますが、本システムはそのために必須となる高い性能を提供します。

【関連資料】

- アナログ・デバイセズの ADAS および自動運転アプリケーションについては、こちらをご覧ください。

<http://www.analog.com/jp/applications/markets/automotive.html>

- Drive360 の動画（英語）

<http://www.analog.com/en/education/education-library/videos/5325722037001.html>

##

アナログ・デバイセズについて

アナログ・デバイセズは、半導体製品とソリューションを提供しています。1965 年に設立され、世界をリードする信号処理技術で「アナログとデジタル」「夢と現実」との懸け橋を担ってきました。

「[想像を超える可能性を](#)」という新たなスローガンを掲げ、イノベーションを加速し、ブレークスルーを生むソリューションをお客様と共に切り拓いていきます。<http://www.analog.com/jp>

■本リリースに関する報道関係者からのお問い合わせ先■

アナログ・デバイセズ株式会社 広報・宣伝部

電話 03-5402-8270 marcom.japan@analog.com

または

株式会社プラップジャパン 担当：谷本、宮原

電話 03-4580-9109 analogdevices.pr@ml.prap.co.jp